

教科	科 目	単位数	学年・クラス
公民	現代社会	2	3年2組

### 1 使用教材

使用教科書	高等学校 改訂版 現代社会
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

### 2 学習の目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

### 3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
② 思考・判断・表現	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。
③ 技能	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。
④ 知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

評価方法 \ 観点	観点				備考
	①	②	③	④	
授業の受講状況	C	A	C	B	授業内での発表やグループ活動での参加状況を含みます。
レポート提出	A	A	B	C	倫理に関する自分の意見を表現することを含みます。
ノート提出	A	B	C	C	ノート提出を通じて、普段の学習状況を確認します。
定期考査	B	B	C	A	記述問題を含みます。

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

#### 4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1編 私たちの生きる社会  第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方  第1章 現代に生きる青年 第2章 個人の尊厳と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	地球環境問題について、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 資源の有限性について理解を深め、石油に代わる資源には何があるか、資源を有効に利用するためにどのようにしなければならないかを考える。 科学技術の発達は、社会や生活をどのように変えてきたかを考え、理解する。 高度情報化社会とは何かを理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、青年期の心理の特徴について理解し、一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。
2 学期	第4章 国際政治の動向と日本の役割  第5章 現代の経済社会と私たちの生活  第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 現代に生きる倫理	日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。  経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。  貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。 哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。
3 学期	第3編 ともに生きる社会をめざして	教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、1枚の給与明細から税について考察したり、原子力発電所の再稼働をめぐる問題を通してエネルギー問題について考察したり、人口問題を通して私たちの未来を考察したりする。